

博志君得度

賀博志君得度

象龍續々如走盤
博志染衣稱大莞
三様三人即一箭
善光寺裡春可歡

昭和二十一年二月八日

龍光後回



博志君の得度を賀す

象龍統統、盤に走するが如し

博志、染衣して大莞と稱す

三様三人、即、一箭

善光寺裡、春天の歡び

解説

禅門ではすぐれた修業者のことを龍象りゆうざうという。ここでは平仄の關係で象龍ざうりゆうとしたが意味は同じである。すぐれた子供たちが続々と現われて、あたくも円盤えんぱん上に玉たまをころがすが如くである。博志君は得度とくど（染衣）して、大莞だいかんという僧名となった。武徳・泰志・博志の三人は三様の素質を持つており、一致協力して強力無比の箭や（矢）となる。得度式のおこなわれた二月八日、善光寺には春の日の歡びが溢れている。



